

学習機会拡大へのOSS/OSPパッケージの活用

－ 自分のペースで学習できる環境づくり －

岡山県立水島工業高等学校 教諭 合田 忠彦

GZR04346@nifty.com

http://cpsrd.com/mi

キーワード：学習環境の整備と情報、NetCommons, OSS, OSP, サポート

1. はじめに

いつでも、どこでも、自分のペースで学習できる環境づくりにより、一斉授業では不十分な学習の個人差へ対応することをめざす。平成17年度、本格的にインターネットとOSSを利用した学習支援システムの検討を開始した。平成18年度には、ポータルサイトのプラットフォームにNetCommonsの利用を開始し、平成19年度OSPプロジェクトへ参加した。CDベースのLinuxは、PCの利用環境を変更する必要がない。PCヘデータが残らない。そのため、生徒の自宅のPCに影響を与ることなく学校と同じ学習環境を作ることができる。このOSPパッケージを活用し、生徒が自宅で授業の延長線上で自分のペースで学習を続けることができる環境づくりをめざす。

2. 自分のペースで学習

2.1 情報の共有のコンテンツ

現在、コミュニティウェア(NetCommons)、ブログ(Nucleus)、eラーニング(Moodle)、ウィキ(PukiWiki)を利用している。NetCommonsは、ポータルサイト、ログインすると使える個人のページ、各科目のページ、補習のページなどとして使う。ブログは、生徒が学習日記を書き込む。eラーニングは、自分のペースでの学習を助ける。ウィキは、疑問に思ったことや質問を書き込む。そして、それら書き込んだ情報を共有する。



図1 学習環境

2.2 学習ツール

現在、CDベースのOSP基本パッケージを使っている。利用するアプリケーションは、表計算(Calc)、プレゼンテーション作成(Impress)、ペイント(Gimp)、テキストエディタ(Kwrite, Kate)、C言語プログラミング演習(kate, gcc)である。

3. 自宅でOSP

3.1 OSPを使った授業

授業	使用OSS	OSPカスタマイズ
第1学年 工業技術基礎 Cによるプログラミング(8時間) 授業者：内藤 正巳、山田 貴俊	kate、Firefox、NetCommons	・C言語演習用パッケージ ・プリンタの設定 ・ネットワーク設定
第2学年 プログラミング技術 プログラミング技法(17時間) 授業者：合田 忠彦		・firefox プラグイン(Flash,Java) ・プロキシ設定
第2学年 課題研究 ホームページ制作(24時間) 授業者：合田 忠彦	Gimp、Calc、Impress、Kwrite、Firefox、NetCommons、Nucleus	・SmartBord とペンタプレットの設定 ・プリンタの設定 ・ネットワーク設定 ・firefox プラグイン(Flash) ・プロキシ設定

3.2 自宅でのOSP起動

(1) BIOSの設定変更

OSP基本パッケージを自宅で起動した結果は、起動できた生徒が50%、起動できなかった生徒が40%、その他10%であった。図2に起動できなかった理由を示した。理由のうち、BIOSの設定ができなかった生徒がもっとも多く25名であった。これは、起動できなかった生徒の80.1%にあたる。100%自宅での起動をめざすために、OSP基本パッケージ起動の説明方法を改善したい。今回は、OSPの資料配付のみ行ったが、PCの違い、ドライブがない場合や不調の場合の対処法などを加える。

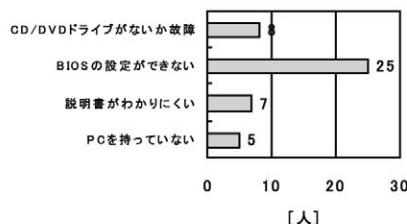


図2 起動できなかった理由

